

映画「日本と原発4年後」の上映会に参加して 4/9 秩父で

上映に先立ち「原発事故から5年後の秩父がどうなっているのか？」を、この間の統計資料に基づいた報告がありました。

横瀬町には、原発事故前の空間線量の貴重な資料があります。事故時の空間線量は事故前の2・7倍、4年半たった2016年でも事故時の76%がまだ残っている事実。

福島の子どもの甲状腺がんの発生は2016年2月の段階で167人、1856人に一人の発生。
(通常は100万人に1〜2人)

放射能雲の流れが秩父と似ている北茨城でも高い発生率、内部被曝の7割は呼吸から体内に取り込まれます。事故による放射線影響調査を行なっている福島大学は「継続した検診で甲状腺がんの発見が増えた」と言っています。

しかし、検診はがんの発生に影響するものではなく、早期発見で治療するものです。

映画は「日本と原発 私たちは原発で幸せですか？」に続く2作目。再稼働した高浜原発の運転を差し止める大津地裁決定、安全性を保障しない新規規制基準、テロと原発の問題、推進派の言い分なども取り入れられていました。驚いたのは、アメリカの全原発に武装したテロ対策部隊が150人づつ配置されているということ。世界を見てもテロの発生は止められていません。

次の映画「日本と自然エネルギー 未来からの光と風」の制作が準備されているそうです。機会があればぜひご鑑賞ください。(S)

「破風山クラブ」登山マップ

配布・コースの案内

昨年続き、今年も4月9・10日、16・17日計4日間、皆野駅前をお借りして皆野町を訪れた登山者に破風山や美の山の登山マップの配布やコースの案内を行いました。



案内所



神奈川からのパーティ

4/9の日は。鉄道の相互乗り入れで横浜、横須賀方面から破風山に登りに来られました。最高が15人の団体で、7〜8人の人達が3〜4組で、一人、二人の少数など多彩な組み合わせでした。

16日は、35、25、15人等の団体で、美の山登山者が多く60代、70代と高齢者が多くいました。町営バス停2階には、美の山に咲く草花の写真や破風山から観える山々の写真、皆野町を紹介したおいしい食べ物屋などのパンフもそろえました。お茶とコーヒーなどセルフで用意しました。出来るところからおもてなし。(T・T)

知子のひとりごと

常山 知子

「熊本地震」を知ったのは翌朝の朝刊を開いたときでした。「えらいことになっている！」と慌ててテレビをつけました。倒壊した家々。亡くなった人も。ケガをした人が100人以上。と写し出される映像をじっと見入ってしまいました。

そして日がたつにつれて、何度も起きる余震、被害、犠牲者が拡大されて行きました。5年前の東日本大震災の時の強い揺れを思い出しました。でも震度4くらいでした。熊本地方で繰り返されていた激しい揺れ、生きたこちがしないのではと思いました。

「九州電力・川内原発は異常なく稼働しています」テレビから流れてきました。さほど遠くないところに川内原発があります。余震の揺れが大きく襲ってきたら・・・。

いまだに収束されない福島第一原発事故を思い出しました。地震国日本。「いつでも、どこでも、強大な地震は起こる」〈東京新聞〉

地震のこわさだけでなく、原発のこわさもしっかりと向き合わないと・・・。

戦争法（安保法制）廃止の

国民連合政府を！

生活・法律相談 お気軽にご相談下さい

常山 知子

電話・FAX 62-6733